



# あおみ

令和5年度 令和5年7月7日 第4号

文責：校長 小畑 一二美

あ い さ つ は 大きな声で自分から  
 お も い や り やさしい言葉と行動で  
 み つ け よ う 教え合おうよ いいところ

## しなやかなで 折れない強さを 7月の全校集会講話より

七月の全校集会では、子どもたちに七夕飾りの実物を見せて、「竹は、大風でも大雪でも折れません。その強さの秘密は？」と問いかけ、いっしょに考えました。

ゆらゆらと弱そうだけど、しなやかでポキリと折れることのない竹の強さの秘密は「節」があることです。子どもたちにも、竹のようなしなやかさ、強さを備えてほしいと願います。では、そのような人間に成長するために大切なことは何でしょう？

勉強ばかり、運動ばかり、ゲームばかり・・・ばかり人間ではなく、色々な体験を積み重ねることで、心も身体も豊かに成長するのだと思います。加茂小学校には、音楽や運動や美術など、様々な分野で活躍した先輩がいることを伝えました。学校に保管されている美術作品やコンクールの優勝カップ等の実物で紹介すると、子どもたちは興味津々の様子で話を聞いていました。

成功も失敗も達成も挫折も、子どもの成長に無駄な経験はありません。学校での様々な体験を通して「節」を身につけ、しなやかでポキリと折れない強さが備わるように、支援を継続します。



## 心に残る創立150周年記念児童集会

6月17日は、加茂小学校の150周年の創立記念日でした。そこで、6月の児童集会では、特別ゲストとして、演奏サークル「ぽんぽこ」さんをお迎えした音楽会を開催し、全校児童が楽しみました。特別注文した記念の横断幕も完成して、会場に掲げました。

ぽんぽこさんは、バイオリン2人、ビオラ1人、チェロ1人の4人編制でした。弦楽器の実物を見るのは初めての子どもたちも多かったようです。演奏に聴き惚れる様子から、弦楽器に魅了されたことがよく分かりました。プログラムでは、「さんぽ」「紅蓮華」「勇気100%」など、子どもたちに馴染みのある曲を演奏してくださいました。また、美しく迫力のある演奏ばかりでなく、指揮者体験あり、クイズありの楽しい音楽会になりました。



また、美しく迫力のある演奏ばかりでなく、指揮者体験あり、クイズありの楽しい音楽会になりました。

フィナーレは、全校児童が輪になってぽんぽこさんを囲み、「にじ」を合唱しました。元気な歌声と、弦楽器の素敵な音色が、体育館一杯に響き渡りました。

## 6年生会津若松への修学旅行

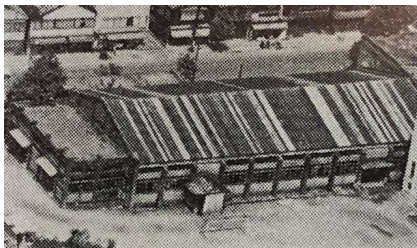
今年の修学旅行は、数年ぶりに会津若松に出かけてきました。6年生は、社会科で日本の歴史を学習します。加茂市は幕末の戊辰戦争で会津藩との関わりが深かったことから、子どもたちの関心も高く、充実した修学旅行になりました。鶴ヶ城や会津藩校日新館、磐梯山噴火記念館の見学、赤べこや慶山焼きの体験活動に素敵なホテルでの宿泊体験等々、ふだんの学校ではできない学習で、実り多い修学旅行となりました。



## 思いやり 信頼 あこがれ 豊かな心を育む 縦割り班活動

加茂小学校には「縦割り班」（1年生から6年生の各学年の児童が2～3人ずつ集まった班）があり、異学年が助け合い、協力する場面になっています。毎日の清掃やおおみ児童会行事では、「縦割り班」で活動しています。

6月23日には、児童会の縦割り班遊びがありました。鬼ごっこ、伝言ゲーム、椅子取りゲームなど、5年生が企画した遊びを、皆で楽しみました。また、体力テストも、縦割り班で行う種目があります。立ち幅跳び、反復横跳び、長座体前屈、上体起こしの4種目の測定に、協力して取り組みました。



「コラム 加茂小温故知新」  
調べて分かった！  
大正時代の運動場

今から約百年前、大正十二年の加茂町の予算総額は約九万四千円で、この頃に建設されていた加茂小学校の校舎の一部と屋内運動場の予算は約五万円だったそうです。これは、屋内運動場を木造建築にした場合で、鉄筋建てにすると、五万円から十二万円に跳ね上がる状況でした。加茂町議会で激しい論争が行われ、その結果、鉄筋づくりは永久的であるとの説が勝ちを制し、鉄筋建ての運動場となったそうです。

当時、鉄筋屋内運動場は、新潟市内に1校あるのみで、県内で二つ目だったそうです。この運動場は、今の体育館ができる昭和五十六年までの約五十年くらい使われていたことになります。

このように巨費を投じてでも、学校教育を充実させたいという、当時の加茂町の人々の思いの強さが分かるエピソードです。

※この記事と左写真(上)は、『写真集 明治・大正・昭和 加茂』を参考に作成しました。